

年間取扱概要

1 総取扱高

平成29年1月から12月における水産物の総取扱高は、数量74,591t、金額93,275,538千円であった。前年と比べて数量は5,787t減少（前年比7.2%減）し、金額は798,457千円減少（前年比0.8%減）した。

平均単価は1,250円となり、前年と比べて80円増加（前年比6.8%増）した。

2 部類別取扱高

(1) 鮮魚介類

数量は、「するめいか」がやや減少、「白さけ（秋さけ、時さけ等）」が大幅な減少、「さんま」が減少したものの、「ぶり」が増加、「いわし」がかなり増加、「たら」がやや増加したため、取扱数量31,443t（前年比5.1%減）と、前年と比べてやや減少した。

金額は、「するめいか」「さんま」がやや減少、「白さけ（秋さけ、時さけ等）」が減少したものの、「ぶり」が増加、「いわし」がやや増加したため、取扱金額35,949,489千円（前年比1.3%増）と、前年並みとなった。

平均単価は1,143円（前年比6.7%増）となり、やや増加となった。

(2) 冷凍魚介類

数量は、「冷さけ」「冷毛がに」「冷たらばがに」が減少し、「冷ほたて」がやや減少したため、取扱数量25,089t（前年比9.6%減）と、前年と比べてやや減少した。

金額は、「冷さけ」がやや減少し、「冷たらばがに」「冷ほたて」が減少したものの、「冷いわし」「冷真がれい」が大幅な増加したため、取扱金額32,004,617千円（前年比0.7%減）と、前年並みとなった。

平均単価は1,276円（前年比9.8%増）となり、前年と比べてやや増加となった。

(3) 加工品類

数量は、「塩さけ」がやや減少、「いくら」が減少したため、取扱数量18,059t（前年比7.4%減）と、前年と比べてやや減少した。

金額は、「塩さけ」がやや増加、「いくら」がやや減少したため、取扱金額は25,321,432千円（前年比4.0%減）と、微減となった。

平均単価は1,402円（前年比3.7%増）となり、前年と比べて微増となった。